

福寿園だより

号外

平成23年12月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名
(うちショートステイ20名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名
(うち認知症12名)
- ◆福寿園ヘルパーステーション
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70
TEL (0244)25-2811
FAX (0244)25-2812
URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>
MAIL fukujuen@chive.ocn.ne.jp

福寿園へ おかえりなさい



大震災から再開へ

常務理事兼福寿園施設長

坂下昌弘

3月11日午後2時46分、異様な地鳴り音とともにこれまで経験したことのない巨大地震が東北地方を襲った。幸い利用者、職員に怪我はなくほっとしたのも束の間、今度は、午後3時40分頃大津波が沿岸部を襲い、福寿園も危ないとのこと。利用者を2階に移動。更に12日、14日には福島第一原発1号機と3号機で水素爆発、避難せずに何とか施設内に踏み止まろうとしたものの職員の避難に加え、燃料、食糧、薬が完全に途絶え、19日やむなく利用者、職員ともども受入施設である横浜に一次避難。11日以降苦難と恐怖が連続し悪夢のような日々であったが、残ってくれた職員は昼夜を通しケアにあたり、利用者全員の命を守ったといっても過言ではない。9月30日緊急時避難準備区域の解除を受け、10月1日特養を再開、24日以降順次利用者をお迎えし、平常時に戻りつつある。法人全体で76名の退職者があり、完全復帰までにはまだまだ道のりが遠い。しかし、地域に根ざす施設としては、一時の猶予も許されず一歩でも前進するのみです。

福寿園、ケアハウスさくら荘休業中、皆様には大変なご苦労、ご心配をおかけいたしましたこと、又、震災により帰園かなわず退所になられたご利用者様から御見舞い申し上げます。

● 特養再開 ●

10月1日から特養が再開し、24日から利用者の皆様が、お世話になってきた避難先から福寿園に戻ってこられました。避難先は関東方面が多く、二次避難や三次避難をされた方もいらっしゃいました。

避難先からの移送には4〜5時間も掛かったのですが戻られた利用者様の中には、「福寿園に戻ってこられて良かった」と涙を流し喜ばれた方もいらっしゃいました。

日ごとに利用者の皆様の笑顔が増え、私たち職員も元気を頂き、仕事に張り合いが出る毎日です。



ハッピーデー

(福寿園デイサービス)

一日一日と寒さが増してきた今日この頃ですが、デイサービス利用者の皆さんは、毎日とても元気に通所されています。

「おはよう。今日は冷え込んだな。」

「〇〇さんが今日から来るって言うから、嬉しくて。久しぶりだもんなあ」等、朝の迎えの車中で思い思いに挨拶、色々な会話が交わされています。

職員にも声を掛けてくださる利用者の皆さんの笑顔を見ると、『今日も一日頑張ろう』と元気を貰えるような気がしてきます。

3月の大震災では、地震と津波で大きな被害、犠牲になられた方々が大量にいらっしゃいます。被災者というだけでなく、原発事故というかつて経験した事のない状況に陥り、未だ完全な収束には程遠く、避難を余儀なくされている方達も少なくありません。

福寿園デイサービスセンターは、6月10日より再開となり、半年が経過しようとしています。避難している職員も多く、当初は少人数での再出発となりましたが、10月より新たに復帰した職員と共に、皆さんにより良いケアを提供していけるように、頑張ってきたと思います。

ケアハウス

さくら荘

10月11日よりケアハウスさくら荘を再開いたしました。

利用者の方々を気持ちよく迎えられようにと職員で除染をした花壇に花を植えました。



「うさぎのミニミ」

ケアハウス食堂前で飼っていた「うさぎのミニミ」が地震、原発事故で長い間休業していたにもかかわらず、震災前と同じように元気



に見える姿を見て「お久しぶり、ご苦労様」 「元気ですかね」と声をかけられる利用者の方々には、笑顔がもどってきました。

かけはし

福寿園居宅介護支援センター

〜住み慣れた地域で〜

想定外の規模だった今回の地震。福祉の分野においても同様でした。

特に「原発事故」で多くの方が避難してからは介護サービスが機能せず、私達は担当していた利用者様の安否確認ぐらいしかできませんでした。

このような中、避難生活を送ることになった利用者様の生活を全国各地のケアマネジャー、介護サービス事業者等の皆様がご支援くださいました。

次第に避難されていた利用者様が南相馬市に戻られています。温かい支援をしてもらったと多くの方々の声を耳にします。避難生活を支えて頂いている多くの皆様に改めて深く御礼申し上げます。

しかし、地域の医療、福祉の施設、サービスはまだ復旧したとはいえません。この地域は「障がいを抱えた地域」かもしれませぬ。しかし、今ここに復興を願って生活している皆さんがいらっしゃいます。これから、住み慣れた地域に戻られた皆様の生活を支援するため、あきらめない心で皆様と共にこの地域で歩んでいきたいと思

愛

*こんなたくと！

ヘルパーステーション

未曾有の大震災・津波、原発事故から3ヶ月後の六月一日に事業所を再開いたしました。休業中にご利用者の皆様におかけしたご不便・ご迷惑をお詫びしつつ、これからの生活を少しでも快適に過ごしていただきたいという思いを胸に無我夢中で走り続け、ふと気づけば、あっという間に半年が経過していました。この半年間、ご利用者の皆様からたくさんの励ましや感謝の言葉をかけていただきました。ご自身が大変な状況の中、私たちヘルパーを氣遣ってくださる温かいお気持ちに心から感謝しています。本当にありがとうございます。

震災以降、訪問先では避難生活のお話を耳にする機会が多くなりました。慣れない環境で、精神的にも身体的にも辛い思いをされた等々。

反面、離れて暮らしているご家族や避難先の方々のやさしさや思いやりに支えられたことはとても嬉しかったです。

ご自宅に戻られてもこれからの生活に不安を感じていらっしやる方も多いと思います。私たちヘルパーは、少しでもその不安を和らげていただけるよう、明るい笑顔と思いやりの心を携えて、皆様のもとへ伺ってまいります。

原町東地域包括支援センター

震災以降の包括支援センター

3月11日の未曾有の大震災以降、私たち包括支援センターも手さぐり状態の中、地域で生活されている方々の状況を少しでも把握しようと日々活動してまいりました。

しかし一包括だけではどうにもならないとき、行政や同市内の包括支援センターといった関係機関の連携やボランティアのみなさんの協力をいただき、介護サービスが機能しなくなっていた状況下でも枠を超えた支援が継続されたことに、福祉の底力を感じました。

6月1日からは、全スタッフがそろい再開となりましたが、震災の影響で、7月いっぱいまで包括支援センター開設当初から一緒に頑張ってきた職員一名が退職しております。

課題はたくさんありますが、今いるスタッフのチーム力を活かしながら、今後も地域の実情にあった支援を行っていきたいと思います。

一人暮らしや高齢者世帯での困りごと、認知症の相談、介護保険のこと、また転倒予防教室への参加受付も行っていきますので、いつでもお気軽にご連絡ください。

☎ 2413390
原町東地域包括支援センターまで

厨房よい

で清掃を行っての再開です。又、10月から委託業者も変わりました。新しい職員の方達と、利用者の方達と、皆さんに喜んでいただける食事を作っていきたいと思えます。

10月11日から給食業務が再開しました。これまで長い期間、厨房を使わなかったことがなかったため、今まで手が回らなかった場所ま



介護保険事業休止のお知らせ

福島第一原子力発電所事故により警戒区域指定を受けております特別養護老人ホーム梅の香並びにグループホーム小高につきましては、警戒区域指定解除後は、速やかに事業再開することを考えておりますが、当面の間、事業再開の目途が立たないことから、特別養護老人ホーム梅の香について介護保険事業休止届を提出致しました。一日も早い事業再開に向けて取り組んでまいりますのでご理解の程お願い致します。

事業再開までの事務業務等につきましては、南相馬福祉会本部にて継続して取扱ってまいりますので、ご相談、ご質問等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

社会福祉法人南相馬福祉会本部
(特別養護老人ホーム福寿園内)
原町区高見町二丁目70番地
0244-25-2811
担当：菅原・高玉

東日本大震災に伴う これまでの経過

- 3月11日
 - 4時46分 震度6弱の地震発生
 - 15時40分 津波到着
 - 利用者・職員けがなし。電話、携帯、インターネット不通
- 3月13日 一般避難者受け入れ
- 3月14日
 - グループホーム小高利用者を福寿園に移動
- 3月16日
 - 「NHKニュースウォッチ9」に福寿園がテレビ電話出演(全国放送)
 - 「老健リハビリよこはま」から利用者全員の受け入れの電話あり
- 3月17日
 - 「老健リハビリよこはま」に利用者全員の受け入れを依頼
- 3月18日
 - 身元引き受け人に「老健リハビリよこはま」への移動を連絡
- 3月19日
 - 「老健リハビリよこはま」が万葉園に迎えに来る。全利用者(229名)を受け入れ施設側で準備した車両で避難移動
- 3月21日～22日
 - 「老健リハビリよこはま」から10都道府県の施設に二次分散避難移動
- 3月25日
 - 本職員業務終了
- 4月4日
 - 福島市飯坂町平野に「法人本部仮事務所」を開設
- 4月20日～21日
 - 山形県内特養移動希望者を山形へ移動
- 5月24日
 - 法人本部を福寿園に移転・万葉園に事務機器等移動
- 6月1日
 - 万葉園・福寿園(本部・デイ・居宅・ヘルパー・包括)での業務開始
- 6月10日
 - 万葉園、福寿園デイサービスセンターのサービス開始
- 7月1日
 - 万葉園当初利用希望者移送終了
- 7月12日
 - 万葉園74名・グループホームたんぼぼ17名の利用者移送終了
- 8月3日
 - 福寿園放射線除染作業1回目
- 10月1日
 - 福寿園・さくら荘業務開始
- 10月4日・5日
 - 福寿園放射線除染作業2回目
- 10月11日
 - ケアハウスさくら荘サービス開始
- 10月24日
 - 特別養護老人ホーム福寿園サービス開始

寄付・寄贈・ボランティア

震災に対して多大な義援金や支援物資等を頂いております。その他沢山の方から支援物資を頂いております。ありがとうございました。

義援金

- ◎ 福島県社会福祉協議会震災見舞助成金 (五十万円)
- ◎ 福島県社会福祉協議会義援金事業所合計 (二百八十万円)
- ◎ 国際ロータリー第2530地区震災ご厚志金 (百万円)
- ◎ 特別養護老人ホームうたしあ震災ご厚志金 (十万円)
- ◎ 特別養護老人ホームうたしあ職員一同震災ご厚志金 (五千九百五十円)
- ◎ 福島県認知症グループ協議会 (二十五万円)
- ◎ 特別養護老人ホーム有磯苑 (十万円)
- ◎ 株式会社建築事務所 (十万円)
- ◎ 株式会社オートランドリタカノ (三万円)
- ◎ 認知症と人と家族の会 (一万円)
- ◎ 福島県社会福祉協議会義援金事業所合計 (百五十万)

支援物資

- ◎ 全国老人福祉施設協議会 (車両二台(三菱自動車))
- ◎ 株式会社ベリカ (スポーツドリンク26ケース)

- ◎ 社会福祉法人朝日新聞社厚生文化事業団 (ガイガーカウンター一台)
- ◎ 特定非営利活動法人難民を助ける会 (ガイガーカウンター一台)
- ◎ 南米パラグアイ国在住日本社会とパラグアイ国 (豆腐26ケース(72丁/C))
- ◎ 横浜ボランティア(衣装雑貨等 40箱)
- ◎ NBC作戦

- 北海道総合政策部地域づくり支援局 道外被災地支援グループ (オムツ五百十箱・雑貨等)
- 東京 片寄様グループ (オムツ・日用雑貨)
- きつずくらぶ (日用品雑貨他)
- 東京 神森様 (レトルト食品他)
- 仙台 佐藤さま (水・米・衣類・寝具他2トトラック一台分)

- 他5名の方から支援物資
- ◎ 福祉関係事業所各社より (米・水・食料品・衛生用品等)
- ◎ 日本人権擁護協会 (ボランティア)

編集後記

肌寒い日が続きますね。外の景色は少しずつ紅葉(秋)から冬に近づいています。震災後、号外という事で広報が発行でき、少しずつ利用者の皆さんと以前の生活に戻っていかれると思っています。